

大ムフティー（エジプト最高イスラム法官）

アリー・ゴマア師

1. 氏名：アリー・ゴマア師（Sheikh Ali Gomaa）
2. 現職：エジプト大ムフティー（最高イスラム法官、Grand Mufti of Egypt）
3. 年齢：56歳（1952年3月3日生まれ）
4. 学歴：
 - 1973年 アインシャムス大学商学学士
 - 1979年 アズハル大学イスラム法学学士
 - 1985年 アズハル大学イスラム法学修士
 - 1988年 アズハル大学イスラム法学博士
5. 経歴：
 - 1985年にアズハル大学にてイスラム法学修士号取得後、同校（Faculty of Islamic and Arabic Studies）で教鞭を取り、准教授を経て教授となる。
 - 2003年 現職
6. 著書、思想傾向、特筆すべき活動
 - （1）イスラム法学者として43冊の宗教書、7冊のイスラム辞典をはじめ多くの著書（一部は英訳され海外で出版）がある他、米国バージニア州のSchool of Islam and Social Science（SISS）のカリキュラム設定に参加する等海外での宗教教育にも熱心であり、欧米の学者、ジャーナリストとも親交がある（相当の英語力もある）。
 - （2）穏健且つリベラルなスンニ派宗教学者として知られ、テロ・暴力はイスラムに反するとの一貫した立場を取っている。90年代には、収監中の過激派、ジハード主義者と面談し、多数が暴力放棄を宣言する転向の契機を与えたとされる。
 - （3）大ムフティー就任後、TV番組に多く出演し、新聞（アル・アハラーム紙）でコラムを執筆する等、積極的にメディアに登場している。イスラム法の解釈の他、2007年のデンマーク紙による「預言者ムハンマド風刺画掲載事件」の際にイスラム教徒に冷静な対応を呼びかけ、また過激主義を否定する等、幅広く穏健な論調を展開している。2009年2月には、イスラム教徒がムスリム同胞団或いはより過激なイスラム主義団体に加入することはイスラムに反するとのファトワー（後出7.（3）参照）を出した。
 - （4）これまで、中東、欧州諸国等を訪問。2008年8月のバイルート訪問では、レバノン・シーア派最高権威ファドラッラー師と会談し、スンニ派、ドルーズ教指導者から国民和解に寄与したと謝意が表明される等、政治的・外交的役割も果たした。

7. 大ムフティーとは

- (1) イスラム世界の前近代においては、イスラム法（シャリーア）が社会全体を律することとなっていた。このイスラム法は成文の法体系ではなく、聖典コーラン、スンニ（預言者ムハンマドの言行）、ハディース（預言者の言行の伝承）、判例等を踏まえウラマー、ムフティーと呼ばれるイスラム法学者が解釈を行っていた。
- (2) 19世紀以降、近代的法体系が導入され、イスラム法が律する範囲は狭まったが、今日でも、特に家族等身分事項についてはイスラム法によって律されている部分が大きく、また、政府も重大な政治決定に際しては、宗教指導者の意見を聴く得るケースが多々見られる。エジプトにおいては、1895年、司法省の一機関としてダール・アル・イフター（宗務裁定庁）が設置され（現在は司法省から独立した政府機関）、以来同機関が公式のイスラム法解釈及びファトワー（イスラム法に基づく勧告）の発出を担っている。同機関の長が大ムフティー（最高法官）であり、大統領により任命され、エジプトにおいてはアズハル大学総長に次ぐ第二宗教権威として重きをなしている。なお、エジプトの他、サウジアラビア、シリア、レバノン、パキスタン等でも各国政府により大ムフティーが任命されている。
- (3) エジプトの大ムフティーの任務は、ダール・アル・イフターの長として、政府の政策から個人的問題までのあらゆる問題について、政府や個人等からの照会に対し、イスラム法に基づく見解、解釈を口頭、文書で勧告（ファトワー）することであり、ファトワーは、法的拘束力を有さないが、イスラム教の最高権威の解釈として尊重されている。また、裁判所が死刑等極刑判決を出す際、大ムフティーに諮問することが義務づけられている。なお、エジプト憲法は「イスラム教を国教とする。アラビア語を公用語とし、シャリーア（イスラム法）の諸原則を立法の主たる源泉とする。」（第二条）と規定している。
- (4) 大ムフティーは、エジプト国内に限らず他国のイスラム教徒からの照会も受け付けており、中世以来、イスラム教の法学・神学教育研究の最高権威であるアズハル大学（アラブ諸国を始め、アフリカ、東南アジア等より多数の留学生が学んでいる）を擁するエジプトの大ムフティー（タンタウィー現アズハル大学総長は1986～96年の間大ムフティーであった）のイスラム法解釈は、エジプト国内のみならず、広くイスラム世界において権威を有している。
- (5) 大ムフティーは、エジプトでは閣僚ではないが閣僚級の扱いを受けている。

(了)